

## 出版物海賊版サイトの最新状況

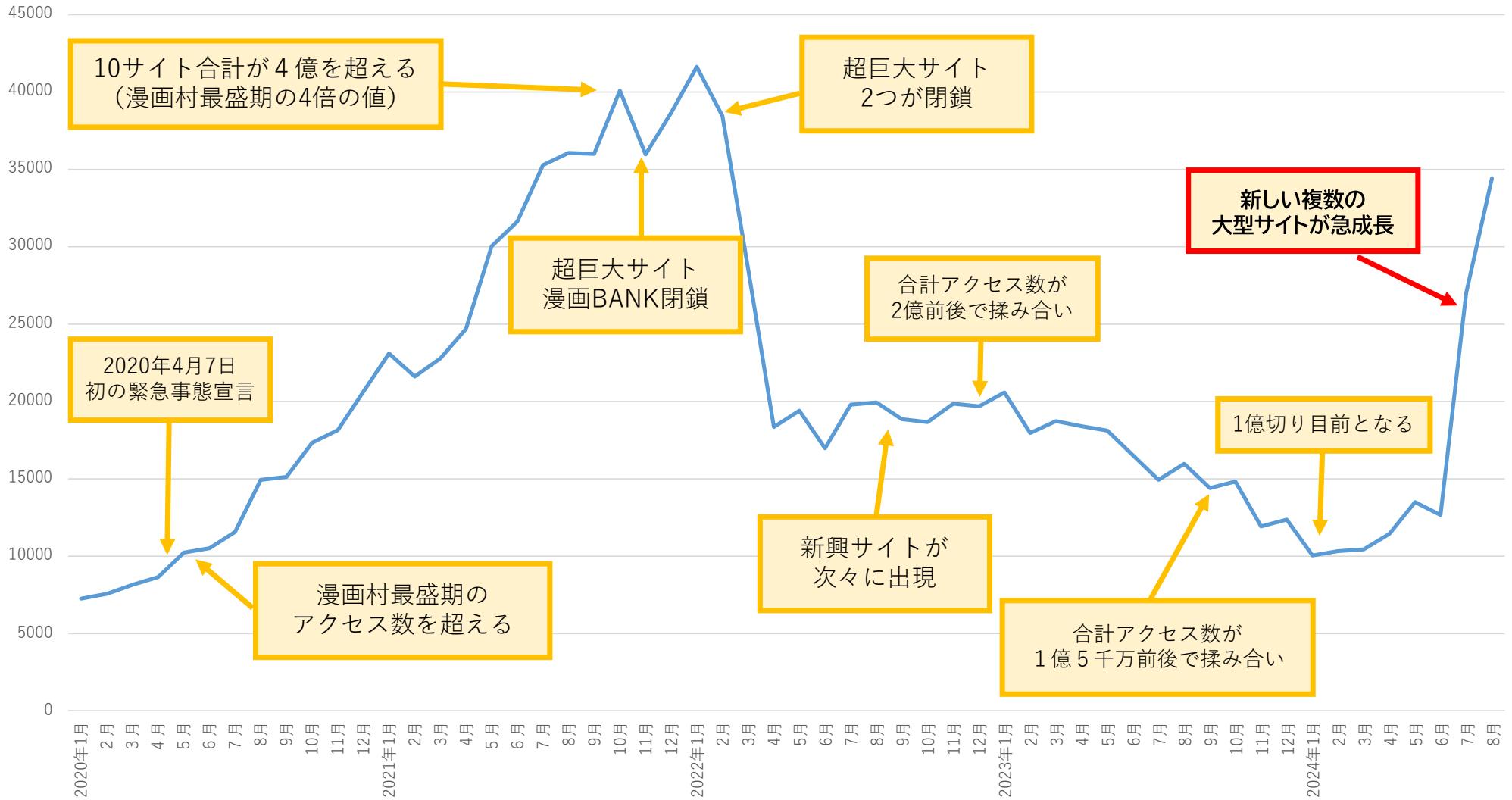
一般社団法人ABJ 広報部会長  
伊東 敦

# 最新2024年8月の状況

单位=万  
40000=4億

## 出版物海賊版上位10サイト アクセス数合計の月別変化

(日本国内からのアクセスのみ／月ごとにサイト入れ替えあり／一社ABJ調べ)



海賊版サイト、日本国内からのアクセス 2024年8月 上位10サイト月間アクセス数(一社ABJ調べ)						
順位	サイト名 ※黄色マーカーは春以降登場の大型サイト	URL	2024年7月 (単位=万)	2024年8月 (単位=万)	7月→8月 の増減率	態様
1			3,579	8,575	239.6%	オンラインリーディング
2			4,482	4,931	110.0%	オンラインリーディング
3			3,080	4,242	137.7%	オンラインリーディング
4			3,126	3,764	120.4%	オンラインリーディング／ベトナム系
5			2,577	2,989	116.0%	オンラインリーディング
6			3,158	2,782	88.1%	オンラインリーディング
7			2,907	2,772	95.4%	オンラインリーディング
8			1,628	1,885	115.8%	ダウンロード／トレント
9			1,309	1,372	104.8%	ダウンロード／トレント
10			1,059	1,132	106.9%	オンラインリーディング／ベトナム系
上位10サイト 合計			26,905	34,444	128.0%	今月は全体的に増加傾向となっており、特に大きく変動があったのは、前月ランク外から2位にランクインしたサイト。今月は1位にランクアップしたが、前月比239.6%と大きく増加し続け、かつての「漫画村」や「漫画BANK」に匹敵するサイトになりつつある。当月上位10サイトの合計アクセス数は34,444万となり、前月の27,016万から約27.5%増加した。新しいサイトに関しては、開示請求の結果が出ておらず発信国が特定できない(ベトナム系が増える可能性がある)

## 英語翻訳海賊版サイトアクセス数 2024年8月

(一社ABJ調べ)

順位	サイト名	URL	2024年7月 (単位=万)	2024年8月 (単位=万)	7月→8月 の増減率	態様
1			8,737	9,181	105.1%	オンライン
2			6,865	7,076	103.1%	オンライン／(ベトナム系)
3			5,025	5,044	100.4%	オンライン
4			4,726	4,513	95.5%	オンライン
5			3,975	4,462	112.3%	オンライン
6			3,624	3,597	99.3%	オンライン／(ベトナム系)
7			3,035	3,008	99.1%	オンライン
8			2,524	2,622	103.9%	オンライン
9			2,584	2,505	96.9%	オンライン／(ベトナム系)
10			2,429	2,342	96.4%	オンライン／(ベトナム系)
上位10サイト 合計			43,524	44,350	101.9%	今月は前月に比べて全体的に微増。唯一気になるのは5位サイトが前月比112.3%と増加傾向にある点。当月上位10サイトの合計アクセス数は44,350万となり、前月の43,524万から微増した。
内 ベトナム系サイト 合計			15,502	15,520	100.1%	ランキング上位10サイトのうち4サイトがベトナム系となっており、当月上位10サイトの合計アクセス数の35.1%程度となり、アクセス数は前月に比べて微増傾向になっている。

その他、参考となるデータ

2024年7月1日現在

ABJが把握している

# 出版物海賊版サイト数 =1322サイト

(2024年2月の1207からやや増加)

日本語のサイトが2024年2月から、294增加した。2024年3月前後から「量産型サイト」と言われるクローンサイトが260以上出現したため。通常は、英語翻訳のサイトが1位。

※その他=一桁の言語  
フランス語(8)イタリア語(6)ドイツ語(4)  
トルコ語(4)など

どんな言語の海賊版サイトが多いのか？

言語	サイト数
日本語	514
英語	392
ベトナム語	118
中国語	72
ロシア語	44
多言語 (日本語、英語、フランス語などが混在)	34
スペイン語	31
インドネシア語	26
韓国語	21
タイ語	17
ポルトガル語	14
その他※	49

# 英語翻訳海賊版サイトには どこの国からアクセスされているのか？

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	
アクセス国	アメリカ	インドネシア	フィリピン	インド	マレーシア	ドイツ	カナダ	ギリス	すべての国
アクセス数	1億2761万	5487万	5314万	3355万	2164万	1552万	1533万	1412万	6億1220万

アメリカからのアクセスが2割を占めるが、圧倒的というわけではない  
英語圏、英語を解する国からのアクセスが多い

※英語翻訳海賊版サイト2024年8月の上位20サイトで速報的に集計(修正の可能性あり)

※アクセス数は万以下を四捨五入

※ほとんどのサイトで韓国、中国の作品も掲載されていることを確認

**一般社団法人ABJ調べ  
【出版物海賊版サイト】  
2023年(年間)にタダ読みされた金額**

**2020年年間=約2100億円**(2021年2月時点での試算)

**2021年年間=約1兆19億円**(2022年2月時点での試算)

**2022年年間=約5069億円**(2023年2月時点での試算)

**2023年年間=約3818億円**(2024年1月末時点での試算)

**【参考】英語翻訳海賊版上位3サイト(合計2億アクセス)でタダ読み金額=1.9億ドル(月間)、23億ドル(年間) 円換算=3300億円**

さまざまな対策を積み上げて、2022年→2023年で、約25%減を実現

2020年と比較して約1.8倍という残念な状況は継続中

また、海外向けの翻訳海賊版サイトへのアクセス数は高止まり傾向

※あくまで「海賊版サイトでタダ読みされた金額」であり、正規の売上げの減少額ではない

※上位10サイトのうち計算可能なオンライン型サイト(ストリーミング型)で試算。ダウンロード型や11位以下のサイトは含まれていない

## 対策の実際と効果

<b>削除要請</b>	<b>個社</b> (侵害対策ベンダーに発注、ACCSと協力しながら)
ある個社のケース【月間200,000件】(月によって変動あり)	
サイト・サービス→70,000件	
検索エンジン→110,000件	
SNS・動画投稿サイト→20,000件	
<b>国内での刑事摘発</b> (著作権、商標権)	
偽グッズ、ネタバレ・早バレサイトなど	
<b>海外在住の運営者の情報開示請求、摘発</b>	<b>出版5社海賊版対策会議</b> (CODA、省庁と協力しながら)
漫画BANK行政処罰(中国)、13DL閉鎖	
ベトナム系サイト閉鎖	
<b>Googleとの効率的な検索結果表示抑止枠組</b>	
<b>クラウドフレア訴訟</b>	
<b>漫画村民事訴訟</b>	<b>出版3社連合+ACCS</b>
<b>STOP! 海賊版キャンペーン</b>	
<b>海賊版サイトリストの作成と利活用</b>	(一社)ABJ (出版社、電子書店、通信事業者、CODA、省庁などと協力しながら)
セキュリティソフト会社に提供(アクセス警告)	
ネット広告関連企業・団体に提供(広告停止)	
通信事業者に提供(スマホでの青少年フィルタリング)	

# キャンペーンの効果はある！



- ➡ 2023年1月に月間合計アクセス2億だったものが2024年1月には1億に減少した
- ➡ これは、STOP! 海賊版キャンペーンとGoogleの効率的な検索結果非表示措置枠組みの効果
- ➡ 具体的には「ありがとう、君の漫画愛。」 キャンペーン

## 「ありがとう、君の漫画愛。」キャンペーンはなぜ効いたのか？ 「海賊版はいけない」という風潮をなぜ広められたのか

- ☞これまでのキャンペーンは「海賊版を読むな！」
- ☞普通のマンガファンからすると「私は海賊版を読んでないから関係ない」と感じコミットしなかった
- ☞「ありがとう、君の漫画愛。」キャンペーンは、「マンガを愛してくれてありがとう」「正規版を読んでくれてありがとう」という、正規版ユーザーに向けてのメッセージ
- ☞正規版ユーザーをそれを受け止め、積極的に拡散してくれた
- ☞「正規版を読むのが当たり前」「海賊版はやっぱりダメ」という「想い」がネット上に溢れ、可視化された
- ☞それが海賊版ユーザーにも伝わり、海賊版サイトのアクセスが減少した